

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイレックス岸和田中井店	階数	地上1F
建設地	大阪府岸和田市中井町一丁目	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年9月17日
敷地面積	6,305 m ²	作成者	岡田 愛
建築面積	2,139 m ²	確認日	2021年9月17日
延床面積	2,095 m ²	確認者	折戸 秀憲



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%
②建築物の取組み 47%
③上記+②以外の 47%
④上記+ 47%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 4.3
LR2 資源・マテリアル: 2.9
LR3 敷地外環境: 3.7

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	岸和田市中井町に建設される物品販売店舗の計画である。サステナビリティに配慮しており、また階高や空間にゆとりのある計画とし、対応性に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	全館禁煙とし、良好な空気環境を維持している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地外緑化に配慮している。
LR1 エネルギー	高効率設備を採用し省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。
Q2 サービス性能	階高や空間にゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	発泡剤を用いた断熱材を使用せず、環境に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0063

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ダイレックス岸和田中井店 新築工事						
	建設地	大阪府岸和田市中井町一丁目						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						5	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.6	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							